

# 大田区職員9条の会ニュース

第103号 2015年10月29日 編集 大田区職員9条の会事務局  
大田区職員労働組合気付

## 沖縄辺野古に新基地は作らせない!!!



翁長沖縄県知事は、10月13日前知事による埋め立て承認の取り消しを発表した。前知事の埋め立て承認は、「瑕疵があった」とする第三者委員会の結論(7月6日)を受け、知事は公約通り「辺野古に新基地は作らせない」の姿勢を鮮明にした。これに対して沖縄防衛局は、取り消しの無効化を求め



る不服審査請求とその採決が決まるまで執行停止の仮処分を求める請求を国土交通省に請求した。本来は、国民が行政に対して行うこうした動きを国の機関が行うことは、法的手続きとしても疑問がある。地方自治体が地域の環境等を守るための施策を国の機関が取り消させるためにこのような動きをすることは地方自治の破壊ともいえる行為である。沖縄の人々の闘いを支持し支援していこう。

### ◇◇◇ ARASHI は止まぬ ◇◇◇

アプリコよりちょっと豪華な文京シビックホールには1,750名集まった。「10・8戦争法廃止！安倍内閣退陣！ 総がかり行動」

「参議院議員選挙は野党協力」(国会議員)

「元プロレスラー大臣に対しこちらには知の武闘家上野千鶴子さんがいる」(弁護士の会)

「砂川判決を軽んじる者は砂川判決に復讐される」(学者の会)

「皆さん落ち込んでいますか？楽観できないが落ち込む必要ありません！」(SEADLs)

「雨にも負けず安倍にも負けず」(街宣チーム)



私は今まで、反対している法案が可決されるとそれまでの運動がしぼんでいくことに疑問を感じていた。今回燃え続けていることに感動と感謝。

(調布地域福祉課・SEADLs・イケメン)

「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」は、戦争法案が成立しても、「戦争反対」の声を上げ続けることを呼びかけています。

## 安保法案＝戦争法案の強行採決弾劾！ 集団的自衛権の行使を許すな！ 憲法改悪に反対し、平和を守りぬく決議（案）

職員9条の会は、戦争法案反対を訴える国会前や日比谷野音の集会に連日参加し、大田区職労の先頭で全国から集まった労働組合、市民、学生とともに闘い抜きました。しかし安倍政権は、国会を取囲む戦争法案反対の声、全国各地から湧き上がる廃案の声を一切無視し踏みにじって安保法案＝戦争法案を強行採決し、成立させました。私たちはこの暴挙に断固抗議します。

成立した法律には、「平和」という言葉があふれています。しかしその内実は、世界のどこかで起きた紛争を政府が「国の存立にかかわる」と判断すれば、世界中のどこにでも自衛隊を派遣しアメリカをはじめとした同盟国と一体となって武力行使できるようにしたものです。多くの憲法の専門家が違憲と指摘しているように、憲法第9条を踏みにじりいつでもどこでも政府の判断だけで集団的自衛権が行使できるようにしてしまったのです。

安保法案を成立させた今、安倍政権の次の目標は明文改憲だと言われています。実際に集団的自衛権が行使されることを許してはならないのはもちろん、明文改憲を絶対に許してはなりません。

沖縄では、県民と県政が一体となった反対にもかかわらず、辺野古への米軍新基地建設が安倍政権によって強行されようとしています。その一方で、普天間基地に続いて東京の横田基地にもオスプレイが配備されようとしています。これらは日本全国を対象にした米軍基地機能の強化であり、集団的自衛権行使が現実のものとなる第一歩だと考えられます。

東日本大震災によって起こった福島第一原発の事故から間もなく5年になろうとしています。避難している人々の生活が元に戻る見通しは示されていません。汚染水は日々増え続け廃炉の目処はたっていません。このような状況にもかかわらず、新規基準に基づく審査に「適合」した川内原発1号機が8月に再稼働しています。川内原発2号機や伊方原発がこれに続く見通しと言われています。原発の重大事故が何も解決しないまま、「安全」と称して原子力発電を再開しようとするのは許せません。

職員9条の会は、大田区職労の先頭で改憲反対・平和を守る運動を取り組んできました。発足以来毎月9の日に発行してきた「大田区職員9条の会ニュース」は、今年の7月号でついに100号を迎えました。この1年間は特に、憲法解釈の変更による集団的自衛権行使容認反対、安保法案＝戦争法案への反対を強く訴えてきました。1月には、アーサー・ピナードさんの講演会「平和ってなあに？ ～海外から見た日本～」を開催し、職員をはじめ区内外から多数の参加者がありました。また、大田九条の会を通じて区内の様々な「9条の会」とも交流を深めてきました。「戦争させない1000人委員会東京南部」にも参加し、地域の中での改憲反対の運動にも大きな役割を果たしています。

私たちは大会方針にのっとり、職員9条の会を中心に、大田九条の会や地域の9条の会、戦争させない1000人委員会東京南部とも連携して、改憲を許さない運動をはじめ横須賀の米軍原子力空母の母港化反対、オスプレイ配備反対、脱原発の運動に取り組めます。

「職員9条の会」が創ってきた運動がこの決議文となりました。全国の多くの仲間とともに、改憲反対の声をより大きく上げてゆきましょう。

2015年10月12日

大田区職員労働組合第84回定期大会